

### 茅野市諏訪郡歯科医師会 学術講演会

夕方より雪が積もりはじめた1月26日(水)、茅野市諏訪郡歯科医師会会館にて学術講演会が行われました。講師には茅野市のご出身で、現在東京都にてご開業されている平岡修先生をお招きし、「マウスピース型矯正装置の臨床応用について」と題して講演をしていただきました。



マウスピース型矯正装置の歴史は約30年前にさかのぼり、Essix type Invisalign Clear alignerなど、様々な装置の研究・改良がなされ、現在開発中のものも多いそうです。

さらに、そのなかでも先生が臨床で多用されて

いるClear alignerについて、実際の臨床での写真を見せていただき、その利点・欠点、臨床での注意点などをわかりやすく、スライドで説明していただきました。普段あまり矯正になじみのない私にもわかりやすく、また時には笑いもあり、会員の先生も熱心に耳を傾けていました。明日からの臨床に役立つヒントが先生の説明にはたくさんあり、とても有意義な時間となりました。

平岡先生の講演で印象に残ったフレーズがあります。

「矯正治療は山登りに似ている。山登りをする人はあくまでも患者さんであり、矯正歯科医は、それをサポートするザイルやロープ、ハーケンのような役割である。だから決して患者さんをおんぶして頂上まで運ぶことはできないことをよく説明し、納得していただくことが一番重要です。」

これは日々の臨床でも当てはまることだなあと感じました。そして会員の先生も、治療の主役は患者さんであることを初心にかえって見つめるよい機会となり、講演は盛況のうちに終了しました。

(三井 貴信 記)